

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



1月のアルミ概況及び2月の見通し (3)

■国内概況まとめ

自動車生産

生産動態統計による、12月の自動車生産台数は前年比-6.8%の66万9521台。輸出は+0.5%。

自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-12.5%の20万7123台。内訳は乗用車が-12.7%、貨物が-11.3%、バスが+10.6%。

住宅着工戸数

12月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比4.2%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は68、393戸。

・前年同月比4.2%増、10か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は5,702千㎡。

・前年同月比5.9%増、9か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では838千戸。

・前月比1.5%減、2か月連続の減少。

アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比+6.3%の15万3538t。2か月連続のプラス。板類は9万2569tで+9.1%、2か月連続プラス。押出類は6万0969tで+2.4%、2か月連続プラス。

アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比 -6.5% 6万1,981t 3か月連続マイナス

出荷 -8% 6万2,605t 3か月連続マイナス

輸出

アルミ新地金が前年比-12.1%の135t。2次合金が同+19.1%の1,999t。スクラップが同+26.6%の2万2,347t。アルミ缶は同-44.5%の5,358t。

輸入

アルミ新地金が前年比+3.5%の10万6,375t。二次合金が同+5.7%の10万0,762t。スクラップが同+44.1%の617t。合金スクラップは同+21.8%の8,257t。

■見通し

自動車

12月の自動車生産が-6.8%。1月国内販売台数が前年比-12.5%。3か月連続生産、販売共に減少！ 半導体以外の中国からの部品供給の遅れからとの事。ただ12月の生産台数の減少幅が大幅減少しており今後の回復に期待。

アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比+6.3%の15万3,538t。2か月連続のプラス。今後プラスが続くかの動向を注視。

アルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績

前年比-6.5%の6万1,981t。3か月連続マイナス。出荷は-8%の6万2,605t 3か月連続マイナス。今月も半導体など中国からの部品供給の遅れによる自動車生産販売の減少に伴う減少と分析。いつプラスに戻るか注視。

・アルミ輸出は自動車生産の減少を受けて2次合金・スクラップが増加

・アルミ輸入は輸入塊の高騰による代替需要の国内玉の不足から大幅増

スクラップ景況予想

流通(一次問屋)在庫はLME価格が2800-3100ドルと高騰したが自動車生産、住宅着工数の減少から売りにくく、さりとて入荷も少なそう。需要面に関しては、北京オリンピック終了後の中国挽回生産からメーカー需要も回復するのではないかと。

LME・為替予想

今月は①ロシア・ウクライナ情勢と②米中の金融政策の動向が焦点。①に関しては、一触即発と思われる報道も一部にあるが、正面切った戦争でロシアが勝つ可能性はなく、さりとて引き下がるわけにもいかず。当面はお互いの引かない演出!?が続くのでは? ②に関しては、中国で北京オリンピック終了後に経済再生のための生産再開金融緩和が行われるのでは。米国に関しては、FOMCで3月に金融引き締めを行うことを示唆している。インフレが米市民の生活に影響し始めていることから、引き締めは行われるのでは。

これらを踏まえた2月のアルミ価格は、2900-3100ドル(セツル)との予想。ドル円は、110-115円(TTM)台を予測。スクラップ購買価格に関しては、据え置きから+10円程度と予測している。(おわり)

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774-43-6700(代表)